

日本安全保障貿易学会設立趣旨

第二次世界大戦後、国際貿易は自由貿易・多角貿易・無差別貿易の三つの原理を基礎に構築され、未曾有の発展を遂げてきた。同時に、国際貿易の増大と相互依存体系の拡大・深化は、部分的にせよ、冷戦後の大量破壊兵器の不拡散体制を脅かし、国際秩序を不安定化させるといったマイナスの影響を国際安全保障に及ぼしてきた。本学会は、このような国際貿易の孕む安全保障の一面に焦点を合わせ、国家安全保障や国際安全保障の維持という観点から政策決定とその実践に当たる政府と貿易の実務に携わる産業界および国際貿易と国際安全保障の関係性について学問的な関心を有する学界の関係者によって結成されたものである。本学会は、国際貿易と安全保障をめぐる諸問題について、政治学、法学、経済学、自然科学など広範な学問体系を相互に関連づけ学際的に研究を推進し、安全保障輸出管理の諸問題を明確にするとともに、産官学の連繋による「貿易管理共同体」の構築と発展を促進し、あわせて他国の「貿易管理共同体」との緊密な連携関係を構築することにより先進国としての責務を果たすことを目的とする。